

■インドネシア：原子力発電アンケート、77.5%が導入に賛成

原子力庁（BATAN：Badan Tenaga Nuklir National）は2017年1月16日、全国300カ所で行った原子力発電の導入に関するアンケート調査の結果を発表した。それによると、対象者4,000人の77.5%が導入に賛成した。賛成の理由は、(1) 停電時間短縮（全体の43.8%）、(2) 電気料金引き下げ（同43.4%）、(3) 雇用創出（同35.1%）などとなっている。全体の22.5%は反対と答え、その理由は、(1) 放射能汚染の心配（同78.1%）、(2) 放射性廃棄物への懸念（同38.1%）、(3) 運転・管理部門の人材不足（同21.4%）などとなっている。同庁は、今後もアンケート調査を実施するとしている。